

四月の幼児生活

東京府女師附屬幼稚園 ト 部 た み

のどかな四月がめぐつてまゐりました。

生長そのものゝ様な活氣に満ちた幼児は「さあ大きい組になつた。」といはんばかりの元氣で遊びまはつて居ります。一種の喜びと又急に多勞の人中に出た何ともつかない不安とをませた心持の新入幼児はお附添に離れかねて立つてゐます。

只さへ狭い園に多勢の大人が立ち交つて居りますと、子供も私共も何とはなしに壓迫に似た感じに包まれるのが四月初めの常でございます。そしてどうか一日も早く子供ばかりの樂園に、子供同志の世界にしたいと願ふのが新入幼児に對する最初の感じで御座います。

四月初めの取扱ひに就て極く簡単に箇條だけを

あげる事と致します。從て抽象的、概括的な表はし方になりますのを御承知下さい。

一、第一に昨日迄の家庭生活と、今日からの幼稚園生活との間は出来るだけなだらかに、急な變化を感じしめない様力める事。つまり大家庭としての幼稚園の樂しさを感じしめる事。

其のため出来る事なら幼児の入園前の身心に關する生活調査を家庭に問ひよく各兒を知る事につとめておく事。
絶えず幼児の上に細密周到の注意を配る事。
保育室、遊戯室、其他凡て環境の整理に一層心をもちよる事。

初めから團體的集團的の扱ひをとる事なく、最

も幼兒の親しんでゐる材料により、最も親しみ

ある家庭的方法と態度を以て迎へる事。つまり唱歌、遊戯等はよく幼兒の今迄に好んでゐたものを知つて歌ひ或はひいてきかせること。ことに幼兒の魂ととけあふ事の出来る唯一の恩物である「おはなし」をよくえらんて用意してあく事。是に於て幼兒に親しみある談話・唱歌・遊戯等の價值を熟々味ふ事が出来るので御座います附添人から無理に離さうとする態度を現はさず何時とはなしに幼稚園生活の面白さに引き込まれる様にはかる事。

幼稚園生活に馴れさせる事はつまり保母や友達に馴れさせる事であります、一般に此の時代の幼兒の特質として主我的で個人的で人と遊ぶ事が出來にくいため、特に友達を選んでやり是と親しむ事を知らせ漸次に相互生活の樂しさを味ふ境地に導くこと。

二、特に身心状態の觀察を絶えず注意する事。

是の方面の家庭の状態をよく調査し（例へば起床・就床・食事或は便通に關する事等）身體發育状態に留意し、精神方面に就ても出来る限り幼兒研究の立場からの智識を用意して是を實際に照しつゝ眞に幼兒生活の真相を見つめる事につけめたき事。

三、新しい生活であると同時に凡ての習慣態度を作り出發點ともみられる時であり、特に外界に對して奇異の眼をみはり、からだ全體を以て外界の凡てを吸收して生活内容を豊かにしようとするかの様にみられる此の時機を、無意義に無氣力にちはらせる如き事のない様用意ありたき事。

四、幼兒の個人個人をよく知る事即ち個性觀察について、出來得る限り細密に最も正しく幸福に導く事の出来る様つとめる事。

なほ此家庭との聯絡といふよりは眞の親しみを以て、凡ての方針等は家庭の理解を充分にし保姆と母親とは全く一つになつて此の最切の教育にとりかゝらねばならないと存じます。何といつてもつまる所愛と熱であると信じます。

生活記録は前にも申した様に只した事の項目だ

材 主 の 月 四	幼一の組(新入園組)	幼二の組(年長組)
<p>○幼稚園生活の樂しさ。</p> <p>○自然界の新生の悦び。</p> <p>○同上</p> <p>○同上</p>	<p>○幼稚園生活の樂しさ。</p> <p>○色彩遊び</p> <p>○遊具の使ひ方</p> <p>○お友通遊び</p> <p>○四月生れの誕生會</p> <p>○家畜小鳥小魚の世話</p> <p>○同上</p> <p>○二の組になつた悦び</p> <p>○新入のお友達の歓迎</p>	<p>けを書き出したもので、その間の保育の生命の流れのいきかひは表はされませんが續いて記する事に致します。幼二組と申しますのは、九月以来記して來ました幼一組の引継ぎ進級したもので御座います。</p> <p>幼一組とは新に入園した幼兒の組で御座います</p>
<p>○花見、摘み草</p> <p>木々の芽ぐみ</p> <p>庭園、花壇作り、種子まき</p> <p>戸外遊び</p> <p>蟲類採集</p> <p>○同上</p>		<p>なほ年長組は項目に於ては全く同じで内容形式に一層充實進展したものが現はれるのであるから其他は特に記す事を略す。</p>

幼一 四月の生活

曜 期	第 一	第 二	第 三	
1	入園式 年長組の遊戲を見る 或は一緒に遊ぶ	自由遊び 砂場、辺り臺 びよん太郎（談話・唱歌遊 戲） 自由遊（黒板畫）	自由遊び （同前） （どんご、橋、影ふみ等 びよん太郎（談話） 唱歌、遊戲（びよん太郎其 他）	自由遊覽（各室、廊下、出入 口、便所等） 自由遊び（積木、繪本、運動 木、毽つき、毽なげ、シート ソーラー、廻施機） 唱談（桃太郎） 唱歌（桃太郎の知つて居るら しきもの） 園内案内
2	自由遊び 土いぢり、みよず、かたつ むり等をさがしてみる	自由遊び （同前） （花やさんごっこ、おま ごと、辺り臺、プラ ンコ其他）	自由遊び （此の間に數観念、或は 色、文字等の調査）	自由遊び （同前） 繪（各兒の畫帳、クレオソ ンにつき一通り説明） 觀察（小鳥、鶴、兔、金魚等 の世話） 傳通院行き（園外保育）
3	自由遊び 表歩（本校及寄宿舎の庭） 唱歌遊（同前） （本日希望にまかせ辦當 組持夢したきものは二の （今年の用意、注意等））	自由遊び （花やさんごっこ、おま ごと、辺り臺、プラ ンコ其他）	自由遊び （花やさんごっこ、おま ごと、辺り臺、プラ ンコ其他）	自由遊び （同前） 繪（各兒の畫帳、クレオソ ンの色合せ、品 物の名稱しらべ） 談話（お日様） 唱歌（あがるあがるお日様）
4	自由遊び 日曜の話（保姆幼兒自由發 表） 唱歌（ひばり） 遊戲（ひばりは歌ひ） 色合せ遊び（色カード） 自由遊び	自由遊び （祝ひの挨拶、答禮、唱歌 演） 開會	自由遊び又は手技。 誕生會仕度。	自由遊び （本讀、談話遊、遊戲等の實 演） 開會

			曜 週
六	第一	第二	1
兎とお猿(談話) 室内の観察 (火鉢、炭火、湯氣、時計、 額等) 遊戯(同前)	自由遊び （同前及マラソン、飛び くら等） 春子さんの花(談話)	花子さんと葦(談話) お庭の観察 櫻、桃、等の舊木草花の芽、 櫻、桃、椿、楓の花等、たんぽ、水仙、ヒヤシンス （同前、スキップ練習 遊戲（尚年長組と混りて遊び よぶ 自由遊び(同前)	唱歌遊戯（同前練習及牛若丸） 牛若丸(談話、極く簡単に) 薺音器をきく 自由遊び（同前、小鳥、鶴、其の他の世話） (數、文字等の觀念調査)
身體検査	園外散歩 摘草、虫類採集、花びらさ 唱歌遊戯 （桃太郎、結んで開いて、 の他知つてゐるもの） （びよん太郎） 唱歌遊戯	花壇作り（同上及種子まき） コスモス、ベルサム、ヒマハリ、スキートビー、キンセンクワ等 三郎さんの玩具(談話) 唱歌遊戯 (前の練習及お日様)	植物園行き 櫻、桃、椿、楓の花等、たんぽ、水仙、ヒヤシンス チウリップ、櫻草、鷺鳩、鶴鳩、鷺、鯉、金魚、蛙の卵及おたまじやくし等の觀察 (五分位の大)
日曜についての話(談話)	お庭の観察 あずま菊、はま菊、さくらん坊、空、雲、行等 絹糸草のひえまき 自由遊び及手技 唱歌遊戯(練習)	花壇の手入 種子まき（朝顔、夕がほ、百日草、はげいとう等） 兎、小鳥、金魚等の世話 色合せ遊び(同前) 目かくしさがし（音色）父は高底より人をあてる遊び 他)唱歌(ひばりはうたひ、鳩其	花壇の手入 種子まき（朝顔、夕がほ、百日草、はげいとう等） 兎、小鳥、金魚等の世話 色合せ遊び(同前) 目かくしさがし（音色）父は高底より人をあてる遊び 他)

幼二 四月の生活

三	第二	第一	第一	曜 週		
（幼一・幼二合同） 談話唱歌遊戲	園内巡覽（幼一組の案内） 自由遊び (幼一組の相手をする)	自由遊び上臺、ブランコ、 かごめ、鬼ごっこ等に なつて入園児の相手と 遊び（前日同様） 談話（この組になつた悦び する） 園内案内（幼一組の案内を	自由遊び 沙上遊び （同前及石けり、じやん けん飛び、兵隊遊び） 石拾ひ遊び（本校々庭） 唱歌遊戲 （びよん太郎及其他（練 習）鳩、雀の學校々庭）	芽生及新芽さがし むり等見る。 度を指導す） お話し遊び（赤づきん） として唱歌、手杖、點が出来 る。唱歌、手杖、點が出来 る。	注意—幼一組細目を参照せ られたし 始業式 人園児の歓迎（尋一と一緒に） 遊びをして見せる、或は 入園児の手をとつて一緒に にスキップ等。	1
車草花屋等観察 江戸川近、小舟、橋、電	自由遊び （此間他は自由遊び及繪 本讀み自由畫（此間に繪 諸調査） 自由遊戲（各自の畫帳に） 唱歌遊戲（同前）	自由遊び （軍、海軍）及積木、ボン ル投げ 花壇作り 唱歌話（茂子さんの花壇）及練	自由遊び（同前） （軍隊ごっこ（陸 海軍）及積木、ボン ル投げ） 花壇作り 唱歌話（新授私の花壇）及練	芽生及新芽さがし むり等見る。 度を指導す） お話し遊び（赤づきん） として唱歌、手杖、點が出来 る。唱歌、手杖、點が出来 る。	2	
六九	花壇作り （前につくき土ならし等） 談話（モナチアトマナチア） 自由畫 唱歌遊戲（前の練習、幼一と共に） 自由遊び（同前） 唱歌遊戲（練習）	花壇手入 （種子まき朝顔ダグがほ 球根の植付（ダリヤ、カ ンナ） 椅子（動物のお話） 音色（音は音の高低によ り動かす）	自由遊び（同前） （此の間に幼兒誕生會の 仕度） 誕生會開會 （此の間に幼兒誕生會の 仕度） 自由遊び（目前）	自由遊び（同前） （自保母及幼兒の自由發表 各幼兒は自由に魚をつけて 魚つり遊び（幼兒の知つて ゐる魚の名を上げさせ、 各幼兒は自由に魚をつけて 魚つり遊び（自保母の生活に就いて くる、ひご及畫用紙、針金等を用ひて作 クレオソ等を用ひて作 た魚を池に放つ、池は積つ 木にて作る。池は積つ 木にて作る。） 唱歌（自保母の話） 唱歌遊戲（練習） 唱歌遊戲（練習） （自由遊び中に數、文字、 色其他の觀念調査） （自保母の話） 唱歌遊戲（練習） 唱歌遊戲（練習） （此の間に幼兒誕生會の 仕度） 自由遊び（目前） （此の間に幼兒誕生會の 仕度） 自由遊び（目前）	3	
				4		

		曜 週	
六 第		五 第	
四 第		三 第	
自由遊び(同前)	お花見(幼二と一緒に) (園内父は園外附近此間 に花の観察も行はる)	お庭の観察 (幼稚一組に同じ、但し観 察範囲をひろめやく 細くなる)	談話(お友達) お庭の観察 (幼稚一組に同じ、但し観 察範囲をひろめやく 細くなる)
談話(赤頭巾)	自由遊び(同前)	遊戯(同前)スキップ練習 (尚一の組の指導に當る)	お花遊び(同前) お話遊び(赤づきんの内容表現) (赤づきんの内容表現)
繪(お話を内容表現其他自由)	結んでひらいて(幼一組合同) (音と聲、桃太郎)	自由遊び(同前) (観察の發表及自由畫)	お話遊び(赤づきんの内容表現) (赤づきんの内容表現)
遊戯(同前)	自由遊び(同前)	自由遊び(同前)	植物園行と観察遊事項、其 (幼一組細目参照)
自由遊び(同前)	自由遊び(同前)	お花見(幼二と一緒) (園外附近此間に花の観察も行はる)	他幼一に同じ。
談話(赤頭巾)	自由遊び(同前)	花壇作り(同上種子まき) 談話(ヘンゼルトグレッテ ル)	植物園行と観察遊事項、其 (幼一組細目参照)
繪(お話を内容表現其他自由)	切紙及折紙(オルガン、ピア ノ、机、鏡、箇等) (幼兒の製作せるものに 室内裝飾)	花壇、切紙其他に談話の内容 表現	自由遊び (銀杏寺及傳道院附近、 櫻坊百合銀杏の新芽等を見る)
遊戯、唱歌(幼一と合同)	唱歌遊戲(前の練習)	唱歌遊戲(前の練習)	自由遊び (銀杏寺及傳道院附近、 櫻坊百合銀杏の新芽等を見る)
唱歌、遊戲(練習)	唱歌遊戲(前の練習)	唱歌遊戲(前の練習)	自由遊び (銀杏寺及傳道院附近、 櫻坊百合銀杏の新芽等を見る)
身體検査	園外散歩 摘草、虫類採集、花びら さし	園外散歩 花壇、飼育物の手入	自由遊び (銀杏寺及傳道院附近、 櫻坊百合銀杏の新芽等を見る)
唱歌、遊戲(練習)	自由遊び(同前)	自由遊び (同前及びまごと、兵隊ごっこ) 花壇、飼育物の手入	自由遊び (銀杏寺及傳道院附近、 櫻坊百合銀杏の新芽等を見る)
身體検査	観察 (あづま菊、はま菊、さくらんぼ、空、雲行等、ひえまき)	自由遊び (同前及びまごと、兵隊ごっこ) 花壇、飼育物の手入	自由遊び (銀杏寺及傳道院附近、 櫻坊百合銀杏の新芽等を見る)
唱歌、遊戲(練習)	自由遊び(同前)	自由遊び (同前及びまごと、兵隊ごっこ) 花壇、飼育物の手入	自由遊び (銀杏寺及傳道院附近、 櫻坊百合銀杏の新芽等を見る)
身體検査	観察 (あづま菊、はま菊、さくらんぼ、空、雲行等、ひえまき)	自由遊び (同前及びまごと、兵隊ごっこ) 花壇、飼育物の手入	自由遊び (銀杏寺及傳道院附近、 櫻坊百合銀杏の新芽等を見る)
唱歌、遊戲(練習)	自由遊び(同前)	自由遊び (同前及びまごと、兵隊ごっこ) 花壇、飼育物の手入	自由遊び (銀杏寺及傳道院附近、 櫻坊百合銀杏の新芽等を見る)